

平成 30（2018）年度 栃木県教育研究発表大会

平成 30（2018）年度栃木県教育研究発表大会を、平成 31 年 1 月 25 日（金）・26 日（土）の両日、栃木県総合教育センターを会場に開催しました。二日間とも天候に恵まれ、延べ 944 人の参加をいただき、盛会のうちに終了しました。

25 日の午前は、学校経営、人権教育、児童・生徒指導の各部会が開催されました。学校経営部会では、「創意ある学校経営と教育活動の推進」をテーマに、学校の業務改善、地域との連携、授業力向上に関する特色ある取組について、小学校、中学校、高等学校から発表がありました。アンケートには、今後の取組の参考にしたいという声が多く挙げられていました。



【学校経営部会での実践発表の様子】

25 日の午後は、学校安全、生涯学習、国語（中・高）、社会、地歴・公民（中・高）、数学（中・高）、理科（中・高）、英語（中・高）の各部会が開催されました。学校安全部会では、「特別支援学校の障害種に応じた実践的な防災教育」や「高校生の積極的な避難所運営の協力の在り方」についての発表がありました。部会の後半では、参加者がクロスロードゲームを実際に体験し、自ら考えることの大切さなどを改めて学ぶことができました。



【学校安全部会での実践発表の様子】

教員や教育関係者による発表及び指導・助言を基に、様々な校種や立場の参加者が、活発に意見を交換する姿がそれぞれの部会で見られました。

アンケートには、「様々な立場の方が参加し、意見を聞き合えることがとても良いと思いました」「貴重な内容の発表であり、これからの時代に必要な授業の在り方を教えていただきました」等の感想が寄せられました。

26 日の午前は、校内研修、特別支援教育、幼小連携、小学校外国語教育の各部会が開催されました。校内研修部会では、「教員が主体的・協働的に取り組み、同僚性を高める校内研修の在り方」をテーマに、宇都宮大学教職大学院生から、協力校における校内研修の実践について発表がありました。研究協議では、校内研修への理解を深めてもらう工夫などについて、活発な意見交換が行われました。



【校内研修部会での実践発表の様子】

26 日の午後は、プログラミング教育、道徳科、主権者教育、学力向上の各部会が開催されました。プログラミング教育部会では、「これで安心！プログラミング教育!!」をテーマに、2020 年度から小学校で全面実施されるプログラミング教育についての正しい理解と、指導力の向上に関する発表がありました。その後、参加者は、タブレットを用いて行うプログラミング教育の実際を体験しました。



【プログラミング部会での発表・演習の様子】